

6. 副作用による健康被害の器官別大分類の内訳の推移(平成17年度～平成20年度)(表)

(単位:件数)

器官別大分類	副作用による健康被害の名称(下層語)	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	合計
血液およびリンパ系障害	無顆粒球症、血小板減少症、DIC等	77	64	72	95	308
心臓障害	心肺停止、徐脈等	22	14	21	6	63
耳および迷路障害	感音難聴、聴覚障害	3	6	2	0	11
内分泌障害	甲状腺機能低下症、副腎皮質機能不全等	3	2	4	4	13
眼障害	視力障害、視神経症、白内障等	17	22	22	26	87
胃腸障害	出血性大腸炎、消化管出血、胃潰瘍等	48	27	35	39	149
全身障害および投与局所機能	多臓器不全、歩行障害、悪性高熱等	44	23	27	15	109
肝胆道系障害	肝機能障害、劇症肝炎等	192	140	146	175	653
免疫系障害	アナフィラキシーショック、アナフィラキシー様反応等	98	102	91	100	391
感染症および寄生虫症	髄膜炎、敗血症等	42	55	60	65	222
傷害、中毒および処置合併症	骨折、中毒等	7	14	15	9	45
臨床検査	CPK増加、血圧低下等	5	2	5	4	16
代謝および栄養障害	糖尿病、低カリウム血症、低ナトリウム血症等	11	4	9	5	29
筋骨格系および結合組織障害	無腐性骨壊死、横紋筋融解、骨粗鬆症等	53	47	56	41	197
良性、悪性および詳細不明の新生物	悪性リンパ腫	0	1	0	2	3
神経系障害	低酸素脳症、悪性症候群、運動機能障害等	182	157	198	163	700
妊娠、産褥および周産期の状態	腹痛異常	0	0	0	2	2
精神障害	抑うつ状態、知覚障害等	2	8	5	3	18
腎および尿路障害	急性腎不全、腎機能障害、ネフローゼ症候群等	40	18	17	31	106
生殖系および乳房障害	卵巣過剰刺激症候群	1	0	2	11	14
呼吸器、胸腔および縦隔障害	間質性肺炎、喘息等	88	40	60	47	235
皮膚および皮下組織障害	皮膚粘膜炎候群、ライエル症候群、過敏症候群等	315	265	289	319	1,188
血管障害	ショック、循環不全等	22	20	20	7	69
合計		1,272	1,031	1,156	1,169	4,628

注1)平成17年度～平成20年度の4年間に給付が決定された事例について副作用による健康被害の名称を医薬用語集であるMedDRA/J V.11.0²の器官別大分類にて集計し、名称を下層語で示した。

注2)複数の医薬品による副作用を受けた事例があるので、支給実員数とは合致しない。

注3)平成17年度分は8. で集計した事例について、MedDRA/J V.11.0の器官別大分類に集計しなおしたものである。

なお、「過敏症候群」においては、MedDRA/J V.9.1では、プライマリスOCが「免疫系障害」であったが、MedDRA/J V.10.1から、「皮膚および皮下組織障害」へ変更された。

※・・・ MedDRA/JとはICH国際医薬用語集である。今回はMedDRA/JのV.11.0に基づき集計した。